

「合掌の心」

広島県 世羅町 鳳林寺 ほうりんじ 住職 原田良浩 りょうこう

先日、法衣ほうえを着てドラッグストアに入った時、見知らぬ女子高生に、合掌とお辞儀をされました。私は高齢の方に合掌されたことはありませんでしたが、高校生からの合掌は初めてでした。ちょっと驚きましたが、私もすぐに合掌とお辞儀を返しました。女子高生は恥ずかしかつたのか、すぐにお店を出て行きました。

お坊さんの私を見て、女子高生が咄嗟に合掌した訳を考えました。毎日、仏壇に手を合わせるご家庭なのだろうか？もしかしてお寺の娘さんなのだろうか？それとも、最近お身内に悲しいお別れでもあったのだろうか？いずれにせよ感心すると同時に、その女子高生が仏様のように見えました。

ところで、お坊さん同士の挨拶は合掌・礼拝です。廊下ですれ違う際も行います。合掌・礼拝は、相手の方の「心の中の仏」と「自分の中の仏」に向けた、お互いを敬う形なのです。お経の中に、「一切衆生 悉有仏性しつしつうぶつじやう」とあります。生きとし生けるものは、みんな仏の性質しやうじやうを持っているということです。しかし、この仏性は、日々実践していかなければ現れません。

曹洞宗の修行道場では「合掌」も徹底的に実践していきます。食事をいただきます、ごちそうさまでしたの合掌。仏壇に向かって手を合わせる、ご本尊様への合掌。どれも自分中心ではなく、相手への感謝と敬いの「仏の心」が現れた形が合掌なのです。今、皆様の「仏の心」の居場所は、どこにありますか。日々の生活の中で「合掌の心」を忘れずにいることは、より豊かな人生への助けとなるのではないのでしょうか。